



2023年12月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

2023年11月14日

上場会社名 株式会社JMC 上場取引所 東
 コード番号 5704 URL <https://www.jmc-rp.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長兼CEO (氏名) 渡邊 大知
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役兼CFO (氏名) 篠崎 史郎 TEL 045-477-5751
 四半期報告書提出予定日 2023年11月14日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2023年12月期第3四半期の業績 (2023年1月1日～2023年9月30日)

(1) 経営成績 (累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年12月期第3四半期	2,668	30.9	466	95.4	468	71.0	300	63.4
2022年12月期第3四半期	2,038	26.4	238	—	273	—	183	—

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年12月期第3四半期	56.29	54.10
2022年12月期第3四半期	34.64	33.14

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2023年12月期第3四半期	4,868	2,765	56.8	516.99
2022年12月期	4,332	2,457	56.7	461.87

(参考) 自己資本 2023年12月期第3四半期 2,765百万円 2022年12月期 2,457百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年12月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2023年12月期	—	0.00	—		
2023年12月期 (予想)				0.00	0.00

(注) 直前に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2023年12月期の業績予想 (2023年1月1日～2023年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	3,500	18.4	500	42.4	490	28.5	310	25.2	58.16

(注) 直前に公表されている業績予想からの修正の有無：有

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2023年12月期3Q	5,350,000株	2022年12月期	5,320,700株
② 期末自己株式数	2023年12月期3Q	300株	2022年12月期	300株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2023年12月期3Q	5,330,077株	2022年12月期3Q	5,300,130株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理性があると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	6
第3四半期累計期間	6
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(セグメント情報)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期累計期間(2023年1月1日～2023年9月30日)における我が国経済は、個人消費や企業の投資活動に緩やかな持ち直しの兆しがみられるなど、経済活動が正常化に向かう一方、原油・原材料価格の高止まりの影響、欧米や中国など海外の景気減退の可能性、地政学的リスクの長期化など依然として不透明な状況であります。

当社を取り巻く試作・開発市場は、世界的なカーボンニュートラル(温室効果ガス排出実質ゼロ)目標達成に向けたEV(電気自動車)開発の本格化により、大手自動車メーカーを中心に新たな生産技術「ギガキャスト(注1)」の採用が注目を集めるなど、試作においても複雑形状かつ大型サイズ化の傾向が続いており、当社においてもギガキャスト工法による試作の対応を進めております。また、当第3四半期累計期間においては、FA(ファクトリーオートメーション(注2))協働ロボット案件についても受注状況は堅調に推移いたしました。

このような環境の中、当社 casting 事業では伊豆木産業用地(長野県飯田市)に量産用 casting 部品、大型 casting 部品の生産を担う国内最大規模の砂型 casting による工場棟「コンセプトセンター第8期棟」を建設し、2023年9月から稼働を開始いたしました。また、3Dプリンター事業では、株式会社ケイズデザインラボ(東京都千代田区)と共同で、製造業向けに3Dプリンターによる小ロット生産確立と普及を支援する事業「デジタル製造プログラム(注3)」の一環で設置した樹脂3Dプリンター「Figure 4」による新たな造形案件の獲得が進みました。

この結果、当第3四半期累計期間の経営成績は、売上高2,668,935千円(前年同四半期比30.9%増)、営業利益466,802千円(前年同四半期比95.4%増)、経常利益468,412千円(前年同四半期比71.0%増)、四半期純利益300,042千円(前年同四半期比63.4%増)となりました。

セグメント別の経営成績は、次のとおりであります。

なお、第1四半期会計期間より、従来「3Dプリンター出力事業」としていた報告セグメントの名称を「3Dプリンター事業」に変更しております。この変更はセグメント名称の変更であり、セグメント情報に与える影響はありません。

① 3Dプリンター事業

3Dプリンター事業におきましては、景況感の回復、展示会や催事の再開により、「短納期」・「高品質」が要求される案件を中心に受注が拡大しました。

また、心臓カテーテルシミュレーター「HEARTROID(ハートロイド)」は、海外で開催される各種国際会議や展示会への出席及び出展などを中心に、積極的な販売促進活動を継続的に実施したことで、製品認知が進み、グローバルデバイスメーカーなどからの受注が続き業績に寄与いたしました。

この結果、3Dプリンター事業の売上高は549,371千円(前年同四半期比47.8%増)、セグメント利益は161,859千円(前年同四半期比149.0%増)となりました。

② casting 事業

casting 事業におきましては、自動車メーカー各社及びTier1(ティアワン)部品メーカーを中心とした国内外のEV関連の試作及び開発や、FA協働ロボット関連の試作及び開発に関する案件の受注が堅調に推移いたしました。

生産面では伊豆木産業用地に建設を進めていた砂型 casting による工場棟「コンセプトセンター第8期棟」の稼働開始にともない、量産用 casting 部品を段階的に既存工場棟から生産移管を進めております。また、ミーリングセンター(静岡県浜松市浜北区)における高難易度の試作加工の取組みや、両工場での柔軟な生産体制による生産量増加及び短納期対応により、全社業績を大きく牽引しました。

この結果、casting 事業の売上高は1,827,866千円(前年同四半期比33.3%増)、セグメント利益は465,547千円(前年同四半期比67.8%増)となりました。

③ CT事業

CT事業におきましては、二次電池の研究開発、製造に必要なあらゆる技術、部品・材料、装置及び二次電池メーカーが出展する大規模な展示会「BATTERY JAPAN(バッテリージャパン)国際二次電池展」への出展により、新規顧客の獲得活動に努め今後の受注に結実すると見込んでおります。しかしながら、当第3四半期累計期間においても、顧客製品の不具合箇所を特定する「非破壊検査・選別サービス」が前年同四半期と比較して案件ボリュームが減少した影響により、売上高・セグメント利益とも前年同四半期を下回る水準となりました。

この結果、CT事業の売上高は291,697千円(前年同四半期比18.6%減)、セグメント利益は192,082千円(前年同四半期比14.6%減)となりました。

（注1）ギガキャスト

大型の鋳造設備で複数のアルミ合金部品を1つのパーツとして成型し、大型の車体部品を生産する方法です。当社では自動車生産工程のギガキャスト化を見据え、試作段階での大型アルミニウム鋳造品の提案ができるよう、対応設備の準備を進めております。

（注2）ファクトリーオートメーション

工場における生産工程の自動化を図るシステムのことで、当社では需要増加が著しい協働ロボット分野で使用される筐体の金属部品に、軽量かつ高強度のマグネシウム鋳造品やアルミニウム鋳造品を提案しております。

（注3）デジタル製造プログラム

事業主体者である株式会社ケイズデザインラボと当社及び3D i H各社（八十島プロシード株式会社・原田車両設計株式会社）が3Dプリンターによる小ロット生産の確立と普及を支援する事業です。当事業は、経済産業省「令和元年度補正ものづくり・商業・サービス生産性向上促進補助金」に採択されたビジネスモデル構築型補助事業です。

- 3Dプリント製造を取り込んだビジネスの検討・ご提案
- 3Dプリントによる製品製造ベンチマークのフルサポート
- 3Dプリントによる小ロット生産の品質検証
- 3Dプリント製造をイノベーションの核とした各種補助金申請サポート

<https://portal.monodukuri-hojo.jp>

（2）財政状態に関する説明

（資産）

当第3四半期会計期間末における流動資産は1,444,067千円となり、前事業年度末に比べ56,339千円増加いたしました。これは主に前払費用が29,705千円、仕掛品が27,458千円増加したことによるものであります。

固定資産は3,424,814千円となり、前事業年度末に比べ480,529千円増加いたしました。これは主に建設仮勘定が507,026千円減少したものの、建物が553,256千円、機械及び装置が354,977千円増加したことによるものであります。

この結果、総資産は4,868,882千円となり、前事業年度末に比べ536,869千円増加いたしました。

（負債）

当第3四半期会計期間末における流動負債は1,045,379千円となり、前事業年度末に比べ5,931千円増加いたしました。これは主に未払法人税等が45,153千円、役員賞与引当金が21,612千円、リース債務が21,130千円減少したものの、1年内返済予定の長期借入金が98,168千円増加したことによるものであります。

固定負債は1,057,781千円となり、前事業年度末に比べ222,535千円増加いたしました。これは主にリース債務が45,516千円減少したものの、長期借入金が267,988千円増加したことによるものであります。

この結果、負債合計は2,103,160千円となり、前事業年度末に比べ228,467千円増加いたしました。

（純資産）

当第3四半期会計期間末における純資産合計は2,765,722千円となり、前事業年度末に比べ308,401千円増加いたしました。これは主に四半期純利益を300,042千円計上したことによるものであります。

（3）業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第3四半期累計期間の実績及び足元の各種動向を踏まえ、2023年2月14日に公表した業績予想を修正しました。詳細につきましては2023年11月14日に公表の「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2022年12月31日)	当第3四半期会計期間 (2023年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	306,561	302,713
受取手形及び売掛金	689,720	621,548
電子記録債権	71,288	86,083
商品及び製品	4,676	3,004
仕掛品	198,228	225,686
原材料及び貯蔵品	79,473	75,818
前払費用	36,764	66,469
その他	1,517	63,210
貸倒引当金	△502	△467
流動資産合計	1,387,728	1,444,067
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	1,376,261	1,929,518
機械及び装置（純額）	72,078	427,055
土地	320,737	320,737
リース資産（純額）	307,596	249,295
建設仮勘定	579,065	72,038
その他（純額）	139,896	278,681
有形固定資産合計	2,795,636	3,277,326
無形固定資産	44,448	37,684
投資その他の資産	104,200	109,803
固定資産合計	2,944,285	3,424,814
資産合計	4,332,013	4,868,882

(単位：千円)

	前事業年度 (2022年12月31日)	当第3四半期会計期間 (2023年9月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	140,753	147,812
短期借入金	100,000	100,000
1年内返済予定の長期借入金	181,345	279,513
リース債務	118,617	97,486
未払金	155,305	216,008
未払法人税等	128,499	83,346
契約負債	75,883	49,087
賞与引当金	51,741	65,394
役員賞与引当金	21,612	—
製品保証引当金	238	32
その他	65,451	6,698
流動負債合計	1,039,447	1,045,379
固定負債		
長期借入金	518,972	786,960
リース債務	226,252	180,736
資産除去債務	88,460	88,963
その他	1,559	1,121
固定負債合計	835,245	1,057,781
負債合計	1,874,693	2,103,160
純資産の部		
株主資本		
資本金	787,529	791,709
資本剰余金	774,529	778,709
利益剰余金	895,664	1,195,706
自己株式	△403	△403
株主資本合計	2,457,320	2,765,722
純資産合計	2,457,320	2,765,722
負債純資産合計	4,332,013	4,868,882

(2) 四半期損益計算書
(第3四半期累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期累計期間 (自 2022年1月1日 至 2022年9月30日)	当第3四半期累計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年9月30日)
売上高	2,038,511	2,668,935
売上原価	1,189,896	1,514,118
売上総利益	848,614	1,154,816
販売費及び一般管理費	609,682	688,014
営業利益	238,931	466,802
営業外収益		
受取利息	4	4
補助金収入	9,934	4,097
受取保険金	4,199	1,235
為替差益	3,219	3,476
受取補償金	25,340	—
その他	3,392	3,408
営業外収益合計	46,091	12,222
営業外費用		
支払利息	8,399	9,006
シンジケートローン手数料	2,247	1,502
その他	469	103
営業外費用合計	11,116	10,612
経常利益	273,906	468,412
特別利益		
固定資産売却益	1,314	—
特別利益合計	1,314	—
特別損失		
固定資産除却損	1,537	23,612
固定資産売却損	180	1,908
特別損失合計	1,717	25,521
税引前四半期純利益	273,504	442,891
法人税、住民税及び事業税	95,382	147,869
法人税等調整額	△5,464	△5,020
法人税等合計	89,917	142,848
四半期純利益	183,586	300,042

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報)

I 前第3四半期累計期間(自 2022年1月1日 至 2022年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期 損益計算書 計上額 (注) 2
	3D プリンター 事業	鑄造事業	CT事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	371,821	1,308,289	358,399	2,038,511	—	2,038,511
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	63,429	—	63,429	△63,429	—
計	371,821	1,371,719	358,399	2,101,940	△63,429	2,038,511
セグメント利益	64,999	277,369	225,040	567,409	△328,477	238,931

(注) 1. セグメント利益の調整額△328,477千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であり、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第3四半期累計期間(自 2023年1月1日 至 2023年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期 損益計算書 計上額 (注) 2
	3D プリンター 事業	鑄造事業	CT事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	549,371	1,827,866	291,697	2,668,935	—	2,668,935
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	549,371	1,827,866	291,697	2,668,935	—	2,668,935
セグメント利益	161,859	465,547	192,082	819,489	△352,687	466,802

(注) 1. セグメント利益の調整額△352,687千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であり、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

(報告セグメントの名称の変更)

第1四半期会計期間より、従来「3Dプリンター出力事業」としていたセグメントの名称を「3Dプリンター事業」に変更しております。この変更はセグメント名称の変更であり、セグメント情報に与える影響はありません。

なお、前第3四半期累計期間のセグメント情報についても変更後の名称で記載しております。